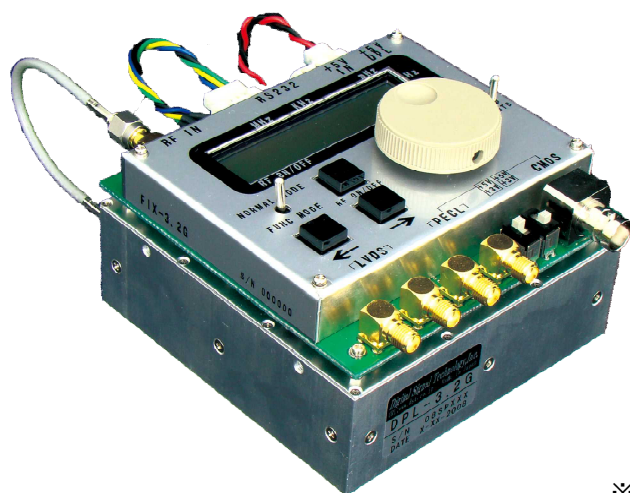


# プログラマブル高周波信号源

型名 DPL-3.2GXF



※写真は、FIX-3.2 付です

## 特長

- 0.1° ステップの位相オフセット
- 0.1dB ステップの出力レベル可変
- ALC によるレベル安定化された出力
- 0.001Hz の周波数分解能
- 高調波の少ないサイン波出力
- +5V 単一電源動作
- 5MHz～3.2GHz の広帯域
- 低位相雑音特性



株式会社ディエステクノロジー

埼玉県朝霞市北原2-9-10

TEL 048-470-7030 FAX 048-470-7022 <http://www.dst.co.jp>

## ● 仕様

周波数範囲	5MHz～3200MHz	
周波数分解能(設定値)	0.001Hz	
出力レベル範囲	+14dBm ～ -40dBm	
出力 OFF 時レベル	-60dBm 以下	
出力レベル精度	±1dB 以下 (出力レベル-30dBm 以上) ±2dB 以下 (出力レベル-30dBm 未満～-40dBm)	
出力レベル分解能(設定値)	0.1dB	
位相オフセット範囲	-360.0° ～ +360.0°	
位相オフセット分解能(設定値)	0.1°	
出力インピーダンス	50Ω	
スプリアス(高調波除く)	-60dBc 以下	
高調波スプリアス	-30dBc 以下 (出力レベル+10dBm～-30dBm、電源電圧 5V～7V において)	
内部基準発振器	周波数精度	±2.5ppm(0°C～50°C) 以下
	経時安定度	±1ppm/年以下
外部基準信号入力 <sup>注2</sup>	周波数	10MHz
	入力レベル	+6dBm(±3dB)
	インピーダンス	50Ω
設定値記憶保証回数	1 万回以上	
インターフェース	方式	RS-232C (PC との接続はストレートケーブルをご使用ください)
	コネクタ	D-Sub 9 ピン (本体メス)
設定時間(更新時間)	周波数	最大 76mS (設定する周波数によって異なります)
	振幅	最大 1mS (定義: デリミター(CRコード)送出後、内部処理終了を示す ' * ' コードが戻って来るまでの時間)
外形寸法	100 x 35 x 100 (mm) (突起物除く) 300g	
動作温度範囲	0°C ～ +50°C	
電源電圧 消費電流	+4.75V ～ +7V 1.5A	

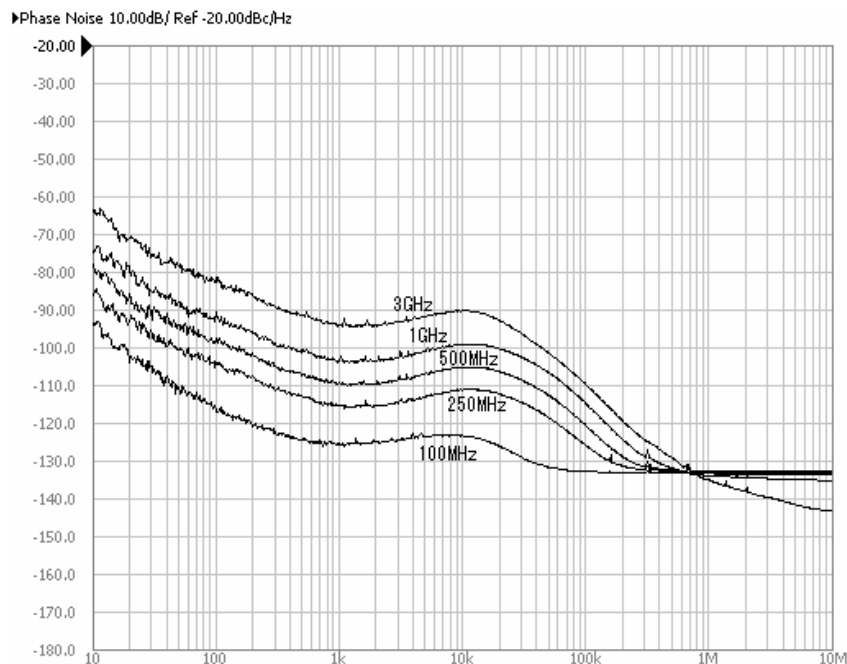
## ● オプション      コントロールボード FIX-3.2GX

周波数、振幅、RF の ON/OFF 等の各種設定をすることが可能  
 ボード上には CMOS、差動 PECL、差動 LVDS のレベルコンバータを完備

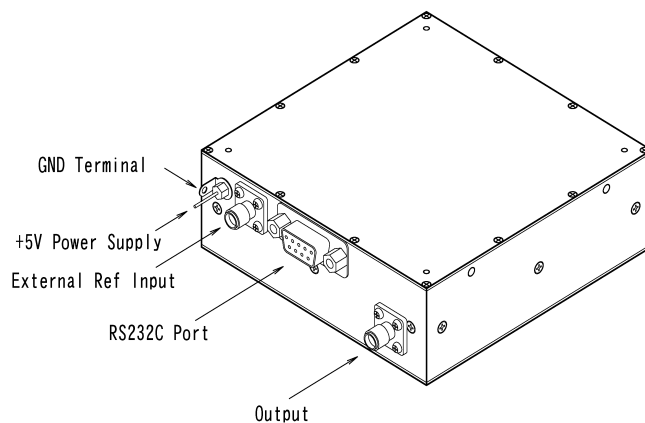
## ● 位相雑音

測定条件： 内部基準発振器モード

位相雑音 [dBc/Hz]



## ● 接続端子



ピン番号	名称	説明
1	電源端子	+5V ±5% 1.5A 以上の電源を接続します <sup>注2</sup>
2	グラウンド端子	電源のグラウンドを接続します <sup>注2</sup>
3	外部基準信号入力端子	外部クロックモードで動作させる場合に 10MHz の基準信号を加えます 入力レベルインピーダンスは 50Ω です SMA(オス)コネクタを使用してください
4	制御ポート	周波数の設定、出力レベルの設定等、本体制御の通信ポートです インターフェースは RS-232C です コネクタは D-Sub 9ピン(オス)を使用してください ケーブルはストレートケーブルを使用してください
5	信号出力端子	信号が出力されます SMA(オス)コネクタを使用してください

**注 2:** 電源+側とグラウンドがショートしないように 十分気をつけてください  
(熱収縮チューブ等による保護をお勧めします)

● 外観図

